

成長の未来図

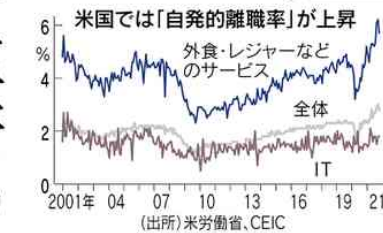
▶ 3

コロナが促す大転職時代

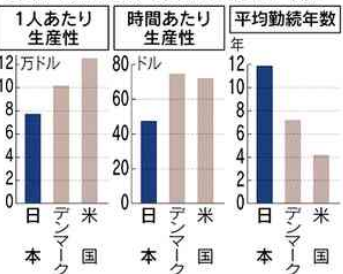
ニューヨーク在住で投資銀行などに勤めていた米バンク・レイトが実施した21年夏の調査では55%の人が1年以内の転職を検討中と答えた。金融知識を生かして個人投資家向けに教材を作る事業を始め、今では収入が社員時代を上回る。「年収12万ドルの仕事を辞めた理由」を語った動画の再生は170万回を超え、転職を考える人たちの共感を呼ぶ。

人材移動こそ革新の勝機

日本にはそういった「終身雇用」の文化が根付いていない。終身雇用を前提とした雇用体がある。それが全体的な賃金の伸び悩みを招き、成長を停滞させる。デジタリズは高まるものの、「45歳定年」を提唱する



勤続年数が長い日本は生産性が低い



と「体のいい中高年のリストラ策だ」と批判が殺到。雇用の安全への強い意識が日本の変革を阻む。安心網を構築すれば日本でも流動化を促すことが可能かもしれない。

デンマークはすでに仕事を辞めて、コペンハーゲン市に住むキアム・コーフィクス（57）は人生で3回、社会人教育を受けた。レストランに就職した後、政府から1カ月約5000ユーロ（約9万円）の補助を受けコンピューターを勉強。28歳で米AT&Tに転職した。体を壊すと疾病プログラムで支援を受けて学び直し、教師を経て今はスピーチセラピスト（言語聴覚士）として働く。

デンマークでは各地に地方自治体が主体の職業訓練学校があり、企業と労組が協議して決める実用的なカリキュラムを受講し、税金が高いと言われるけど賃しい人もチャンスが得られる（コーフィクスさん）

デンマークの1人あたり労働生産性は10・2万ドルと米国（12・6万ドル）を下回る一方、時間あたりでは74万ドルと米国72万ドルを上回る。今や日本よりも1人あたりの年間労働時間の多い米国に対し、生活と仕事を両立させるのがデンマーク流といえる。

人材の流動性が高ければ経済全体でみた適材適所の人材の再配置につなげやすい。働き手一人ひとりがスキルを磨き力を十分に発揮できる環境を整えられるか。再挑戦しやすいとする仕組みを本気で作らない限り貴重な能力も時間も死蔵されてしまう。

自ら離職が最多

米国の自発的離職者数が増えているためだ。コロナ禍が促す人材の流動化は生産性向上やイノベーションの創出を後押しすることに後押し。

「Great Resignation」と名付けた。「多くの流出超過だったのに対応できない人材の「社内長分野への人材シフトも」

飲食↓AT&T

デンマークはすでに仕事を辞めて、コペンハーゲン市に住むキアム・コーフィクス（57）は人生で3回、社会人教育を受けた。レストランに就職した後、政府から1カ月約5000ユーロ（約9万円）の補助を受けコンピューターを勉強。28歳で米AT&Tに転職した。体を壊すと疾病プログラムで支援を受けて学び直し、教師を経て今はスピーチセラピスト（言語聴覚士）として働く。

デンマークはすでに仕事を辞めて、コペンハーゲン市に住むキアム・コーフィクス（57）は人生で3回、社会人教育を受けた。レストランに就職した後、政府から1カ月約5000ユーロ（約9万円）の補助を受けコンピューターを勉強。28歳で米AT&Tに転職した。体を壊すと疾病プログラムで支援を受けて学び直し、教師を経て今はスピーチセラピスト（言語聴覚士）として働く。